



2020年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年11月6日

上場会社名 参天製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4536 URL <https://www.santen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 黒川 明

問合せ先責任者 (役職名) IR室 室長 (氏名) 板垣 香里 TEL 06-4802-9360

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

コアベース

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア四半期利益		親会社の所有者に 帰属する コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益		希薄化後1株当たり コア四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	118,775	3.9	25,639	6.2	18,794	5.6	18,814	5.7	47.14		47.00	
2019年3月期第2四半期	114,344	3.2	24,135	△1.0	17,799	△0.6	17,803	△0.6	43.75		43.62	

IFRS (フル) ベース

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	118,775	3.9	19,011	△8.7	18,408	△7.0	13,129	△8.7	13,148	△8.6	7,725	△65.4
2019年3月期第2四半期	114,344	3.2	20,825	△1.0	19,790	△4.3	14,376	△5.7	14,380	△5.7	22,294	11.6

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	32.94		32.85	
2019年3月期第2四半期	35.34		35.23	

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率		1株当たり親会社 所有者帰属持分	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%	円 銭	円 銭	
2020年3月期第2四半期	397,073		295,192		293,662	74.0		735.77		
2019年3月期	391,186		292,572		290,900	74.4		728.97		

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2020年3月期	—	13.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	14.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日 (2019年11月6日) 公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

コアベース

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	248,000	6.0	51,000	5.7	37,700	4.5	95.29	

IFRS (フル) ベース

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	248,000	6.0	34,500	△23.5	34,300	△20.4	23,200	△27.4	58.98	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

IFRS (フル) ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料P13「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	399,850,954株	2019年3月期	399,782,354株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	597,000株	2019年3月期	663,412株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	399,107,321株	2019年3月期2Q	406,937,690株

(注) 期末自己株式数には、株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式 (2019年3月期末 5,642株、2020年3月期2Q 5,642株) が含まれています。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績は、事業環境変化、新薬の承認時期、為替レート変動、医薬品行政の動向など様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2019年11月7日(木)に証券アナリスト、機関投資家向けの第2四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料は、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書	7
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(重要な後発事象)	13
3. 連結参考資料	14
(1) 主要製品売上収益	14
(2) 開発状況	15
(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費	17
(4) 主要通貨為替レート	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当第2四半期連結累計期間の業績の状況

(ア) コアベース ※1

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	対前年同期増減率
売上収益	114,344	118,775	3.9%
コア営業利益	24,135	25,639	6.2%
コア四半期利益	17,799	18,794	5.6%
親会社の所有者に帰属する コア四半期利益	17,803	18,814	5.7%

[売上収益]

前年同期と比べ3.9%増加し、1,188億円となりました。

主力の医療用医薬品事業においては、日本では前年同期と比べ2.2%増加しました。EMEA（ヨーロッパ、中東およびアフリカ）、中国およびアジア地域では当社製品は順調に市場浸透し、成長を維持しています。

売上収益の内訳は次のとおりです。

上段：金額

下段：対前年同期増減率

(単位：百万円)

	日本	中国	アジア	EMEA	米州	合計
医療用医薬品	68,502	13,676	8,570	18,182	552	109,482
	2.2%	17.0%	5.9%	1.3%	206.5%	4.4%
一般用医薬品	6,556	—	154	—	—	6,710
	△11.6%	—	4.0%	—	—	△11.3%
医療機器	1,620	—	—	217	1	1,838
	24.2%	—	—	637.0%	—	37.8%
その他	670	35	40	—	—	745
	39.7%	49.9%	42.7%	—	—	40.3%
合計	77,347	13,711	8,764	18,399	552	118,775
	1.5%	17.1%	6.0%	2.3%	206.8%	3.9%

(注) 外部顧客に対する売上収益を表しています。

顧客の所在地をもとに国または地域に分類しています。なお、アジアには中国を含んでいません。

<医療用医薬品>

◇日本

前年同期と比べ2.2%増加し、685億円となりました。各疾患領域の主力製品の売上推移は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域

「タプロス点眼液」	47億円	(対前年同期増減率 △ 2.4%)
「タプコム配合点眼液」	13億円	(対前年同期増減率 + 0.3%)
「コソプト配合点眼液」	38億円	(対前年同期増減率 △23.1%)
「エイベリス点眼液」	6億円	(対前年同期増減率 —)

・角結膜疾患治療剤領域

「ヒアレイン点眼液」	41億円	(対前年同期増減率 △ 9.0%)
「ジクアス点眼液」	78億円	(対前年同期増減率 +11.6%)

・抗アレルギー点眼剤領域

「アレジオン点眼液」	49億円	(対前年同期増減率 + 0.8%)
------------	------	-------------------

・網膜疾患治療剤領域

「アイリーア硝子体内注射液※2」	308億円	(対前年同期増減率 + 9.7%)
------------------	-------	-------------------

◇中国

円換算ベースで前年同期と比べ17.0%増加し、137億円となりました。主力製品の売上推移は次のとおりです。

・角結膜疾患治療剤領域 「ヒアレイン点眼液」	49億円	（対前年同期増減率 +19.3%）
・眼感染症治療剤領域 「クラビット点眼液」	60億円	（対前年同期増減率 +23.3%）

◇アジア（中国除く）

円換算ベースで前年同期と比べ5.9%増加し、86億円となりました。主力製品の売上推移は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域 「コソプト配合点眼液」	20億円	（対前年同期増減率 +12.9%）
・角結膜疾患治療剤領域 「ジクアス点眼液」	12億円	（対前年同期増減率 +62.3%）

◇EMEA

円換算ベースで前年同期と比べほぼ横ばいの182億円となりました。主力製品の売上推移は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域 「タブロス点眼液」	32億円	（対前年同期増減率 △ 1.1%）
「タブコム配合点眼液」	11億円	（対前年同期増減率 +29.2%）
「コソプト配合点眼液」	46億円	（対前年同期増減率 △ 2.1%）
「トルソプト点眼液」	13億円	（対前年同期増減率 + 1.7%）
・角結膜疾患治療剤領域 「Ikervis（アイケルビス）」	14億円	（対前年同期増減率 + 3.4%）

<一般用医薬品>

前年同期と比べ11.3%減少し、67億円となりました。

「サンテボーティエシリーズ」、新「サンテメディカルシリーズ」、「ソフトサンティアシリーズ」などの高価格帯品に引き続き注力しています。

<医療機器>

前年同期と比べ37.8%増加し、18億円となりました。

これまでの主力品の「エタニティ」シリーズに加え、2019年4月に発売した眼内レンズ「レンティス コンフォート」（Oculentis社（オランダ）から導入）の普及促進活動に注力しています。

<その他>

その他の売上収益は7億円となりました。サプリメント製品の販売、株式会社クレール（連結子会社）での無塵・無菌服のクリーニング業によるものです。

[コア営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ2.8%増加し、705億円となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べほぼ横ばいの334億円となりました。

研究開発費は、前年同期と比べ4.1%増加し、114億円となりました。

以上により、コアベースでの営業利益は、前年同期と比べ6.2%増加し、256億円となりました。

（イ）IFRS（フル）ベース

（単位：百万円）

	前第2四半期	当第2四半期	対前年同期増減率
売上収益	114,344	118,775	3.9%
営業利益	20,825	19,011	△8.7%
四半期利益	14,376	13,129	△8.7%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	14,380	13,148	△8.6%

[売上収益]

コアベースからの調整はありません。

[営業利益]

売上総利益、販売費及び一般管理費、研究開発費について、コアベースからの調整はありません。

製品に係る無形資産償却費は、前年同期と比べ42.1%増加し、49億円となりました。これは主に、米メルク社から2014年に譲受けた眼科製品に関する無形資産、2015年より欧州で販売を開始した「Ikervis（アイケルビス）」に関する無形資産、ならびに2016年のInnFocus, Inc. 買収に伴い取得したDE-128（PRESERFLO MicroShunt）に関する無形資産（2019年4月より償却開始）の償却によるものです。

その他の収益は、2億円となりました。

その他の費用は、19億円となりました。主に、2016年のInnFocus, Inc. 買収に係る条件付対価の公正価値の変動によるものです。

これらにより、IFRS（フル）ベースの営業利益は、前年同期と比べ8.7%減少し、190億円となりました。

[親会社の所有者に帰属する四半期利益]

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期と比べ8.6%減少し、131億円となりました。売上収益に対するその比率は、11.1%となりました。

※1 参天製薬グループではIFRS適用を機に、IFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一部の収益および費用を控除した「コアベース」での財務情報を経常的な業績を示す指標として開示しています。IFRS（フル）ベースによる業績からコアベースでの業績への調整において控除する以下の収益および費用とそれらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算出しています。

- ・製品に係る無形資産償却費
- ・その他の収益
- ・その他の費用
- ・金融収益
- ・金融費用
- ・販売費及び一般管理費のうち企業買収に係る一過性費用

※2 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品です。

② 研究開発活動

<緑内障・高眼圧症領域>

プロスタグランジンF_{2α}誘導体およびβ遮断剤の配合剤DE-111（一般名：タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩）は、中国で2019年1月に第Ⅲ相試験を開始しました。

EP2受容体作動薬DE-117（一般名：オミデネパグ イソプロピル）は、米国で2018年9月に第Ⅲ相試験を開始しました。日本では2018年11月に発売しました。アジアでは2019年4月より韓国をはじめとして順次、販売承認を申請しています。

FP/EP3受容体デュアル作動薬DE-126（一般名：sepetaprost）は、米国および日本で2017年7月より後期第Ⅱ相試験を実施しています。

緑内障用デバイスDE-128は、FDA承認取得に向け米国および欧州で第Ⅱ／Ⅲ相試験を実施しています（欧州にてCEマーク承認取得済み）。

プロスタグランジンF_{2α}誘導体の乳化点眼剤DE-130A（一般名：ラタノプロスト）は、欧州およびアジアで2019年4月より第Ⅲ相試験を実施しています。

<角結膜疾患（ドライアイを含む）領域>

DE-076C（開発品名：Vekacia、一般名：シクロスポリン）は、2018年7月に欧州委員会より医薬品販売承認を取得し、イギリスで2018年10月に発売しました。アジアでは、2019年8月に台湾でIkervis（アイケルビス）の適応拡大として販売承認を取得しました。カナダでは、2018年12月に販売承認を取得しました。

DE-114A（一般名：エピナスチン塩酸塩）は、日本で2019年9月に製造販売承認を取得しました。

<網膜・ぶどう膜疾患領域>

DE-109（一般名：シロリムス）は、米国で2018年12月よりぶどう膜炎を対象とした追加の第Ⅲ相試験を実施しています。

DE-122（一般名：carotuximab）は、米国での開発を目指し、2017年7月より滲出型加齢黄斑変性を対象とした前期第Ⅱ相試験を実施しています。

<その他疾患領域>

DE-127（一般名：アトロピン硫酸塩）は、アジアで2017年11月より近視を対象とする第Ⅱ相試験を実施しています。日本で2019年8月に第Ⅱ／Ⅲ相試験を開始しました。

眼内レンズMD-16は、日本で2019年5月に製造販売承認を申請しました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第2四半期末の資産は、3,971億円となりました。Santen Oyのタンペレ工場（フィンランド）譲渡完了による有形固定資産ならびに棚卸資産の減少、無形資産および営業債権及びその他の債権の減少など的一方、現金及び現金同等物およびIFRS第16号「リース」適用による有形固定資産の増加などにより前期末と比べ59億円増加しました。

資本は、2,952億円となりました。その他の資本の構成要素の減少など的一方、利益剰余金の増加などにより前期末と比べ26億円増加しました。

負債は、1,019億円となりました。IFRS第16号「リース」適用による金融負債の増加などにより前期末と比べ33億円増加しました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ0.4ポイント減少し、74.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、236億円の収入（前年同期は、172億円の収入）となりました。これは四半期利益が131億円、減価償却費及び償却費が82億円および営業債権及びその他の債権の減少が54億円あったことなど的一方、法人所得税の支払いが74億円あったことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、19億円の支出（前年同期は、40億円の支出）となりました。これは有形固定資産および無形資産の取得による支出が44億円あったことなど的一方、投資の売却による収入が17億円あったことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、60億円の支出（前年同期は、79億円の支出）となりました。これは配当金の支払いが52億円およびリース債務の返済による支出が14億円あったことなどによるものです。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物残高は、前期末と比べ142億円増加し、850億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は、概ね予定通り推移しており、2019年5月9日に公表した業績予想からの変更はございません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上収益	114,344	118,775
売上原価	△45,772	△48,302
売上総利益	68,573	70,473
販売費及び一般管理費	△33,474	△33,422
研究開発費	△10,964	△11,412
製品に係る無形資産償却費	△3,473	△4,937
その他の収益	259	160
その他の費用	△96	△1,851
営業利益	20,825	19,011
金融収益	547	518
金融費用	△1,581	△1,121
税引前四半期利益	19,790	18,408
法人所得税費用	△5,414	△5,279
四半期利益	14,376	13,129
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目：		
確定給付制度の再測定	—	—
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産の純変動	3,907	△747
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	4,011	△4,658
その他の包括利益	7,918	△5,404
四半期包括利益合計	22,294	7,725
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	14,380	13,148
非支配持分	△4	△19
四半期利益	14,376	13,129
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者持分	22,345	7,866
非支配持分	△51	△142
四半期包括利益合計	22,294	7,725
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	35.34	32.94
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	35.23	32.85
＜コアベース＞		
売上収益	114,344	118,775
コア営業利益	24,135	25,639
コア四半期利益	17,799	18,794
基本的1株当たりコア四半期利益（円）	43.75	47.14
希薄化後1株当たりコア四半期利益（円）	43.62	47.00
コア四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	17,803	18,814
非支配持分	△4	△19
コア四半期利益	17,799	18,794

（2）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	31,699	38,291
無形資産	131,110	125,090
金融資産	30,044	27,388
繰延税金資産	1,771	1,991
その他の非流動資産	1,819	1,886
非流動資産合計	196,444	194,645
流動資産		
棚卸資産	35,235	33,652
営業債権及びその他の債権	84,618	78,342
その他の金融資産	267	429
その他の流動資産	3,826	5,033
現金及び現金同等物	70,796	84,972
流動資産合計	194,742	202,428
資産合計	391,186	397,073

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	8,252	8,287
資本剰余金	8,661	8,631
自己株式	△1,131	△1,011
利益剰余金	258,659	267,452
その他の資本の構成要素	16,461	10,303
親会社の所有者に帰属する持分合計	290,900	293,662
非支配持分	1,672	1,530
資本合計	292,572	295,192
負債		
非流動負債		
金融負債	23,520	30,296
退職給付に係る負債	1,992	2,325
引当金	1,255	600
繰延税金負債	9,389	7,746
その他の非流動負債	1,795	1,332
非流動負債合計	37,951	42,298
流動負債		
営業債務及びその他の債務	32,079	31,411
その他の金融負債	12,116	14,010
未払法人所得税等	7,185	6,270
引当金	717	474
その他の流動負債	8,566	7,417
流動負債合計	60,663	59,583
負債合計	98,614	101,881
資本及び負債合計	391,186	397,073

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2018年4月1日残高	8,032	8,657	△11	249,225	—	14,364
四半期包括利益						
四半期利益				14,380		
その他の包括利益						3,907
四半期包括利益合計	—	—	—	14,380	—	3,907
所有者との取引額						
新株の発行	87	87				
自己株式の取得			△1			
配当金				△5,289		
株式報酬取引	67	△55				
所有者との取引額合計	154	31	△1	△5,289	—	—
2018年9月30日残高	8,186	8,688	△12	258,316	—	18,270

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計			
2018年4月1日残高	4,583	975	19,921	285,823	1,734	287,557
四半期包括利益						
四半期利益			—	14,380	△4	14,376
その他の包括利益	4,058		7,965	7,965	△47	7,918
四半期包括利益合計	4,058	—	7,965	22,345	△51	22,294
所有者との取引額						
新株の発行		△150	△150	23		23
自己株式の取得			—	△1		△1
配当金			—	△5,289		△5,289
株式報酬取引			—	12		12
所有者との取引額合計	—	△150	△150	△5,254	—	△5,254
2018年9月30日残高	8,641	825	27,736	302,914	1,683	304,597

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	その他の資本の構成要素					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2019年4月1日残高	8,252	8,661	△1,131	258,659	—	10,230
四半期包括利益						
四半期利益				13,148		
その他の包括利益						△747
四半期包括利益合計	—	—	—	13,148	—	△747
所有者との取引額						
新株の発行	35	35				
自己株式の取得				△0		
自己株式の処分		△112	121			
配当金				△5,189		
株式報酬取引		47				
その他				833		△833
所有者との取引額合計	35	△30	121	△4,356	—	△833
2019年9月30日残高	8,287	8,631	△1,011	267,452	—	8,651

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計			
2019年4月1日残高	5,428	802	16,461	290,900	1,672	292,572
四半期包括利益						
四半期利益			—	13,148	△19	13,129
その他の包括利益	△4,535		△5,282	△5,282	△122	△5,404
四半期包括利益合計	△4,535	—	△5,282	7,866	△142	7,725
所有者との取引額						
新株の発行		△43	△43	28		28
自己株式の取得			—	△0		△0
自己株式の処分			—	9		9
配当金			—	△5,189		△5,189
株式報酬取引			—	47		47
その他			△833	—		—
所有者との取引額合計	—	△43	△876	△5,105	—	△5,105
2019年9月30日残高	893	760	10,303	293,662	1,530	295,192

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	14,376	13,129
減価償却費及び償却費	5,510	8,202
金融収益及び金融費用(△は益)	△11	△268
法人所得税費用	5,414	5,279
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	2,477	5,449
棚卸資産の増減(△は増加)	△1,158	558
営業債務及びその他の債務の増減(△は減少)	△1,341	△864
引当金及び退職給付に係る負債の増減(△は減少)	△445	△474
その他	△338	△226
小計	24,486	30,786
利息の受取額	103	52
配当金の受取額	259	260
利息の支払額	△6	△92
法人所得税の支払額	△7,594	△7,419
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,249	23,588
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	△210	△121
投資の売却による収入	—	1,671
有形固定資産の取得による支出	△2,863	△2,792
無形資産の取得による支出	△750	△1,633
その他	△147	967
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,971	△1,908
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	245	588
長期借入金の返済による支出	△2,908	—
配当金の支払額	△5,288	△5,182
リース債務の返済による支出	△2	△1,396
その他	23	28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,930	△5,962
現金及び現金同等物の増減額	5,348	15,717
現金及び現金同等物の期首残高	69,283	70,796
現金及び現金同等物の為替変動による影響	606	△1,542
現金及び現金同等物の四半期末残高	75,237	84,972

（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下に記載する会計方針の変更を除き、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

参天製薬グループでは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しています。

基準書		強制適用時期 (以降開始年度)	参天製薬グループ 適用時期	新設・改訂の概要
IFRS第16号	リース	2019年1月1日	2020年3月期	リースの認識に関する会計処理の改訂

IFRS第16号「リース」

参天製薬グループでは、これまでIAS第17号「リース」（以下「IAS第17号」という。）を適用してきましたが、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号を適用しています。

前連結会計年度において、参天製薬グループは、実質的にすべてのリスクおよび経済的便益を享受するリース契約をファイナンス・リースとして分類しています。リース資産は公正価値または最低支払リース料総額の現在価値のいずれか低い金額で当初認識しています。ファイナンス・リース以外のリース契約はオペレーティング・リースに分類しており、参天製薬グループの連結財政状態計算書には計上されていません。オペレーティング・リースの支払リース料は、費用としてリース期間にわたって定額法で認識しています。

当第2四半期連結累計期間において、参天製薬グループは、IFRS第16号に基づき、契約の締結時に契約がリースであるかまたはリースを含んでいるかを判定しています。契約が特定された資産の使用を支配する権利を一定期間にわたり対価と交換に移転する場合には、当該契約はリースであるかまたはリースを含んでいると判定しています。

契約がリースであるかまたはリースを含んでいると判定した場合、リースの開始日に使用権資産とリース負債を認識しています。リース負債は、リース開始日における未決済のリース料の割引現在価値として当初測定しています。使用権資産は、リース負債の当初測定額に当初直接コスト、前払リース料等を調整した取得原価で当初測定し、リースの開始日から経済的耐用年数またはリース期間のいずれか短い期間にわたり規則的に償却しています。なお、参天製薬グループは、リース期間が12ヶ月以内のリースおよび原資産が少額であるリースについては使用権資産とリース負債を認識せず、リース期間にわたり定額法により費用として認識しています。

参天製薬グループでは、経過措置に従ってIFRS第16号を遡及適用し、適用開始の累積的影響額を適用開始日（2019年4月1日）に認識しています。IFRS第16号への移行に際し、契約にリースが含まれているか否かについては、IFRS第16号C3項の実務上の便法を選択し、IAS第17号およびIFRIC第4号「契約にリースが含まれているか否かの判断」のもとでの判断を引き継いでいます。

参天製薬グループは、過去にIAS第17号を適用してオペレーティング・リースに分類したリースについて、IFRS第16号の適用開始日に、リース負債を認識しています。

適用開始日において要約四半期連結財政状態計算書に認識した使用権資産は7,696百万円、リース負債は8,564百万円です。使用権資産は「有形固定資産」に含まれており、リース負債は「金融負債」または「その他の金融負債」に含まれています。

また、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示していた「リース債務の返済による支出」について、金額的重要性が増したことから、当第2四半期連結累計期間より独立掲記し、前第2四半期連結累計期間の要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書を組み替えています。

この結果、前第2四半期連結累計期間の要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた△2百万円は「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「リース債務の返済による支出」として独立掲記しています。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

3. 連結参考資料

(1) 主要製品売上収益

(単位: 百万円)

品目名 (有効成分・剤形)	薬効成分	地域	2019年3月期				2020年3月期			
			第2四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 実績	対前年 伸長率	第2四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 見込	対前年 伸長率
クラビット点眼液 (レボフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	8,076	5.4%	15,028	0.6%	8,997	11.4%	15,733	4.7%
		日本	1,754	△24.3%	3,175	△22.7%	1,430	△18.5%	2,528	△20.4%
		中国	4,830	22.9%	8,860	10.9%	5,953	23.3%	9,924	12.0%
		アジア EMEA	725 766	15.1% △1.7%	1,524 1,468	23.5% △9.0%	855 757	18.0% △1.2%	1,873 1,407	22.9% △4.2%
タリビッド点眼液 (オフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	795	△9.9%	1,445	△8.6%	781	△1.7%	1,472	1.9%
		日本	266	△6.1%	482	△5.2%	230	△13.4%	364	△24.5%
		中国	345	△8.5%	599	△13.8%	363	5.2%	581	△3.0%
		アジア	184	△17.2%	364	△3.7%	188	2.2%	527	44.9%
タブコム配合点眼液 (タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	2,307	23.0%	4,788	23.0%	2,613	13.3%	5,708	19.2%
		日本	1,282	1.3%	2,549	2.8%	1,286	0.3%	2,724	6.9%
		アジア	142	122.8%	308	94.9%	186	30.7%	400	29.7%
		EMEA	883	61.6%	1,930	53.9%	1,142	29.2%	2,583	33.8%
タブロス点眼液 (タフルプロスト点眼液)	緑内障治療剤	合計	9,094	1.5%	18,014	1.0%	9,025	△0.8%	18,645	3.5%
		日本	4,828	△2.2%	9,554	△0.6%	4,712	△2.4%	9,135	△4.4%
		中国	89	63.7%	228	54.8%	165	86.1%	370	62.3%
		アジア EMEA	954 3,223	15.6% 2.5%	1,857 6,375	11.9% △0.8%	961 3,186	0.7% △1.1%	1,992 7,149	7.2% 12.1%
コソプト配合点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	11,473	△5.7%	21,985	△9.2%	10,462	△8.8%	20,341	△7.5%
		日本	4,933	△16.6%	8,919	△21.8%	3,792	△23.1%	7,608	△14.7%
		アジア	1,801	13.8%	3,675	14.9%	2,033	12.9%	3,745	1.9%
		EMEA	4,739	1.6%	9,392	△2.2%	4,637	△2.1%	8,988	△4.3%
チモプトール点眼液 (チモロールマレイン酸塩点眼液) (*チモプトールXE点眼液を含む)	緑内障治療剤	合計	1,510	△22.4%	2,874	△21.7%	1,284	△15.0%	2,756	△4.1%
		日本	879	△26.2%	1,645	△25.0%	711	△19.1%	1,561	△5.1%
		アジア	109	△2.7%	221	△0.2%	117	8.2%	231	4.7%
		EMEA	523	△18.7%	1,008	△19.8%	456	△12.8%	963	△4.4%
トルソプト点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	2,293	0.8%	4,586	△1.9%	2,279	△0.6%	4,530	△1.2%
		日本	769	△11.2%	1,474	△10.2%	702	△8.7%	1,359	△7.8%
		アジア	198	30.3%	415	26.9%	228	14.9%	526	26.6%
		EMEA	1,327	5.4%	2,697	△0.4%	1,349	1.7%	2,645	△1.9%
エイベリス点眼液 (オミデネバグ イソプロピル点眼液)	緑内障治療剤	合計	—	—	431	—	637	—	2,366	449.0%
		日本	—	—	431	—	637	—	2,366	449.0%
アレジオン点眼液 (エピナスチン塩酸塩点眼液)	抗アレルギー点眼剤	合計	4,893	△3.8%	19,445	15.4%	4,933	0.8%	21,865	12.4%
		日本	4,893	△3.8%	19,445	15.4%	4,933	0.8%	21,865	12.4%
フルメトロン点眼液 (フルオロメトロン点眼液)	抗炎症点眼剤	合計	1,747	△5.2%	3,302	△5.6%	1,786	2.2%	3,293	△0.3%
		日本	769	△27.4%	1,640	△22.4%	624	△18.8%	1,432	△12.7%
		中国 アジア	747 231	22.1% 34.1%	1,231 430	16.2% 32.6%	827 335	10.7% 45.1%	1,309 552	6.3% 28.3%
カリーユニ点眼液 (ピレノキシ点眼液)	老人性白内障治療剤	合計	2,117	△12.8%	4,076	△7.6%	2,110	△0.3%	4,122	1.1%
		日本	1,343	△7.1%	2,604	△5.0%	1,327	△1.1%	2,597	△0.2%
		中国 アジア	422 352	△14.1% △28.3%	760 713	△14.1% △9.5%	370 413	△12.2% 17.3%	756 768	△0.5% 7.8%
OftanCatachrom (オフトンカタクロム) (チトクロームC/アデノシン/ ニコチンアミド含有点眼液)	老人性白内障治療剤	合計	1,177	△18.7%	2,397	△11.1%	1,233	4.7%	2,445	2.0%
		EMEA	1,177	△18.7%	2,397	△11.1%	1,233	4.7%	2,445	2.0%
オベガンハイ眼粘弾剤 (ヒアルロン酸ナトリウム眼科手術補助剤)	眼科手術補助剤	合計	1,065	△10.7%	2,154	△6.5%	1,183	11.2%	2,011	△6.7%
アイリーア硝子体内注射液 (アフリベルセプト(遺伝子組換え) 硝子体内注射液)	眼科用VEGF阻害剤	合計	28,020	7.6%	56,157	9.0%	30,750	9.7%	58,363	3.9%
日本	28,020	7.6%	56,157	9.0%	30,750	9.7%	58,363	3.9%		
ヒアレイン点眼液 (ヒアルロン酸ナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	10,445	10.5%	18,902	4.0%	10,070	△3.6%	19,207	1.6%
		日本	4,518	△21.3%	8,763	△18.7%	4,111	△9.0%	7,152	△18.4%
		中国 アジア	4,083 1,844	41.6% 121.8%	7,567 2,572	31.3% 57.3%	4,872 1,086	19.3% △41.1%	9,792 2,263	29.4% △12.0%
ジクアス点眼液 (ジクアホソルナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	7,679	7.0%	15,367	7.6%	9,016	17.4%	16,866	9.8%
		日本	6,963	8.0%	13,932	8.7%	7,773	11.6%	15,082	8.3%
		中国 アジア	0 716	— △2.2%	25 1,409	— △3.7%	81 1,162	— 62.3%	235 1,549	829.7% 10.0%
Ikervis(アイケルビス) (シクロスポリン点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	1,561	54.2%	3,391	65.5%	1,771	13.5%	4,091	20.7%
		アジア	195	—	459	570.3%	360	84.4%	917	99.7%
		EMEA	1,366	35.1%	2,932	48.0%	1,412	3.4%	3,174	8.3%
Cationorm(カチオノーム)	角結膜疾患治療剤	合計	1,153	22.9%	2,512	20.1%	1,588	37.7%	3,486	38.7%
		アジア	79	△9.9%	168	△15.8%	121	51.9%	322	91.8%
		EMEA 米州	977 97	22.5% 84.4%	1,989 355	19.1% 59.1%	1,008 460	3.2% 375.9%	2,634 530	32.4% 49.1%
レンティス コンフォート	白内障治療用 眼内レンズ	合計	—	—	129	—	474	—	2,910	—
		日本	—	—	129	—	474	—	2,910	—
一般用医薬品		合計	7,566	△1.9%	14,223	△2.5%	6,710	△11.3%	15,128	6.4%
		日本	7,418	△1.9%	13,930	△2.6%	6,556	△11.6%	14,707	5.6%
		アジア	148	△3.4%	293	△0.1%	154	4.0%	421	43.5%

※上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。通期見込については当初想定為替レートで換算して表示しています。

（2）開発状況

2019年10月時点

■開発状況一覧表（臨床段階）

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シロリムス	DE-109	ぶどう膜炎	自社	米国						
				日本						
				欧州						
				アジア	2015年4月					
免疫抑制作用、血管新生抑制作用などを有する硝子体内注射剤。米国で、2018年12月に追加のフェーズ3試験を開始。アジアで、2015年4月に販売承認を申請。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩	DE-111	緑内障・高眼圧症	AGCと共同開発	中国						
プロスタグランジンF _{2α} 誘導体およびβ遮断剤の配合剤。2014年11月、日本で発売。2015年1月以降、欧州で順次発売。2016年4月以降、アジアで順次発売。中国で、2019年1月にフェーズ3試験を開始。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
エピナスチン塩酸塩	DE-114A	アレルギー性結膜炎	日本ベーリンガーインゲルハイム	日本				2019年9月		
H ₁ 拮抗作用と膜安定化作用を併せ持つアレルギー性結膜炎治療剤。高用量製剤。日本で、2019年9月に製造販売承認を取得。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オミデネパグイソプロピル	DE-117	緑内障・高眼圧症	宇部興産と共同開発	米国						
				日本	2018年11月					
				アジア	2019年4月					
新規メカニズムのEP2受容体作動薬。米国で、2018年9月にフェーズ3試験を開始。日本で、2018年11月に発売。アジアでは2019年4月より韓国をはじめとして順次販売承認を申請。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
carotuximab	DE-122	滲出型加齢黄斑変性	TRACON社	米国	(フェーズ2a)					
抗エンドグリン抗体の硝子体内注射剤。米国での開発を目指し、2017年7月にフェーズ2a試験を開始。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
sepetaprost	DE-126	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国	(フェーズ2b)					
				日本	(フェーズ2b)					
FP受容体およびEP3受容体への作動作用（デュアル作動薬）を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国および日本で、2017年7月にフェーズ2b試験を開始。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	DE-127	近視	Singapore Health Services社、南洋理工大学	日本	(フェーズ2/3)					
				アジア						
小児における近視の進行を抑制するムスカリン受容体拮抗薬。日本で、2019年8月にフェーズ2/3試験を開始。アジアで、2017年11月にフェーズ2試験を開始。										
一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
緑内障用デバイス	DE-128	緑内障	自社	米国	(フェーズ2/3)					
				欧州						
原発開放隅角緑内障における眼圧下降を目的とし、房水の流出を促すインプラント手術用デバイス。FDA承認取得に向け米国および欧州にて、フェーズ2/3試験を実施中。欧州にてCEマークの承認を取得済み。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	DE-076C (Vekacia)	春季カタル	自社	欧州						2018年10月
				アジア						2019年8月
				その他						2018年12月
免疫抑制作用により、春季カタルの症状を改善する乳化点眼剤。カチオニック製剤技術により組織移行性を高めた製剤。2018年7月に欧州委員会より医薬品販売承認を取得し、イギリスで、2018年10月に発売。台湾で、2019年8月にIkervis（アイケルビス）の適応拡大として承認を取得。カナダで、2018年12月に販売承認を取得。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ラタノプロスト	DE-130A (Catioprost)	緑内障・高眼圧症	自社	欧州						
				アジア						
プロスタグランジンF _{2α} 誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。欧州およびアジアで、2019年4月にフェーズ3試験を開始。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
眼内レンズ	MD-16	白内障	Oculentis社	日本						2019年5月
白内障手術後無水晶体に挿入する、乱視用（トーリック）眼内レンズ。日本で、2019年5月に製造販売承認を申請。										

■2019年度第1四半期決算発表時（2019年8月1日）からの変更点

開発コード	変更点
DE-114A	日本で、2019年9月に製造販売承認を取得
DE-127	日本で、2019年8月にフェーズ2／3試験を開始
DE-076C	台湾で、2019年8月に販売承認を取得

(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費

■設備投資

(単位：百万円)

	2019年3月期		2020年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
設備投資額	3,233	7,220	4,694	10,000

(注) 使用権資産の増加は除いています。

■減価償却費及び償却費

(単位：百万円)

	2019年3月期		2020年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
総額	2,037	3,981	2,098	4,760
製造経費	946	1,872	1,049	2,140
販売管理費	765	1,478	727	1,860
研究開発費	326	631	322	760

(注) 製品に係る無形資産償却費、長期前払費用の償却費および使用権資産の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

(単位：百万円)

	2019年3月期		2020年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
総額	3,473	6,988	4,937	9,900
メルク無形資産償却費	2,904	5,808	2,904	5,810
DE-128*無形資産償却費	—	—	1,394	2,830
Ikervis(アイケルビス)無形資産償却費	368	727	343	740
その他	201	453	295	520

*DE-128 (PRESERFLO MicroShunt)

■研究開発費

(単位：百万円)

	2019年3月期		2020年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
研究開発費	10,964	23,759	11,412	28,000
対売上収益比	9.6%	10.2%	9.6%	11.3%

(4) 主要通貨為替レート

(単位：円)

通貨	2019年3月期 第2四半期	2019年3月期	2020年3月期 第2四半期	2020年3月期 (予想)
米ドル	110.21	110.82	108.82	110.00
ユーロ	129.81	128.38	121.28	120.00
中国元	16.70	16.52	15.77	16.00

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。